

埼玉県生協連メールマガジン

Information

2023.11 発行

第 59 回埼玉県消費者大会



10月25日、今年3月から県内22の消費者団体が毎月実行委員会を開催して、話し合いを積み重ねてきた「第59回埼玉県消費者大会」が開催されました。来賓に砂川裕紀埼玉県副知事をお迎えし、オープニング企画では大川義秋さんの琴の演奏、寺島実郎さんによる記念講演が行われ、オンライン配信を含めて362人が参加しました。午後からは、食の分科会と環境の分科会にわかれて、228人が参加し、学習と交流を深めました。

埼玉県生協連および会員生協の取り組みと埼玉県生協連の10月度のまとめを、PDF配信いたします。ぜひご覧ください。

- 埼玉県生協連 2023年10月度のまとめと今後の課題
- 埼玉消費者被害をなくす会10月度まとめと今後の課題
- 学習会・交流会日程およびテーマ一覧
- 埼玉県生協連日誌と予定

CO・OP 埼玉県生活協同組合連合会



1. 全体状況

- (1) **第2回活動委員会** 10月24日、パルシステム埼玉「ぱる★てらす」で開催しました。上期組合員活動のふりかえりと交流、11月から2024年3月にかけて予定している埼玉県生協連主催の取り組みについて話し合いました。
- (2) **第59回埼玉県消費者大会** 10月25日、埼玉会館小ホールおよびYouTube配信で開催しました。砂川裕紀副知事のあいさつ、寺島実郎さんによる記念講演、実行委員会報告、埼玉県への要請の報告の後、大会アピールを採択しました。全体会は会場265人、YouTube視聴97人、計362人、午後は食分科会と環境分科会をハイブリッドで開催、食分科会には会場88人、Zoom33人 計121人、環境分科会は会場90人、Zoom17人 計107人、分科会計228人に参加いただきました。
- (3) **埼玉大学「ダイバーシティ協同組合論」** 10月13日、埼玉大学教育機構ダイバーシティ推進センターが設置する「特別教育プログラム・ダイバーシティ課題解決プログラム」の一つとして、日本協同組合連携機構（JCA）が支援する「ダイバーシティ協同組合論」第5回講義が行われ、埼玉県生協連と埼玉大学生協が講師を務めました。同講座は11月17日まで全15回のプログラムで開催されます。
- (4) **県内生協関係福祉事業情報交換会** 10月31日に開催し、介護保険事業を行っている生協と生協関連団体から12人が出席しました。各生協・団体から事業報告を行った後、居宅支援事業の現状や担い手確保について意見交換を行いました。
- (5) **自然災害緊急募金(リビア洪水)を行いました** 9月10日に発生したリビアにおける大規模な洪水災害に対して、日本ユニセフ協会から募金の呼びかけがあり、県生協連として5万円の募金を行いました。
- (6) **イスラエルとパレスチナにおける武力行為の即時停止と人道支援実施の要請を行いました** 10月31日に、日本政府に対し、双方の政府や関係機関へ暴力の連鎖を停止するよう具体的な働きかけを強める要望を、内閣総理大臣あてに提出しました。
- (7) **広報・コミュニケーション** 写真ニュース秋号を発行しました。第59回埼玉県消費者大会開催について、マスコミリリースし、埼玉新聞、ニッポン消費者新聞に掲載されました。
秋号はこちら⇒https://www.skenren-coop.jp/06_sokuho/pdf/23_vol87.pdf

2. 分野の取り組み状況

- (1) 10月2日、埼玉まるごとヘルスチャレンジ2023第2回実行委員会を開催し、各団体の広報や呼びかけ状況を共有し、健康フェスタや彩の国ドリームフェスタなど、今後のイベント時の取り組みについて話し合いました。
- (2) 10月22日(日)、コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナに埼玉県生協連として出展しました。ブースでは消費者被害を防止する視点でスマートフォンを使った二次元バーコードの読み込み、スクリーンショット体験や使い方を考えるゲーム、シールアンケートを行い、約200人が訪れました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 10月27日、日本生協連中央地連主催の「関東甲信越行政生協関係者連絡会」が開催され、埼玉県からは埼玉県消費生活課と埼玉県生協連が出席しました。食品ロス削減に関する消費者庁からの講演、山梨大学の神山久美さんによる「消費者教育の現状と課題」などがあり、最後に分散会が行われ、終了しました。

(2) 埼玉消団連

- ① 10月度幹事会を開催し、第59回埼玉県消費者大会の運営について、県内消費者団体地区別研修会のテーマなどについて話し合いました。
- ② 10月11日、第59回埼玉県消費者大会第8回実行委員会を開催し、大会の参加集約状況や運営、分科会の役割分担など最終確認しました。25日の大会終了後、第9回実行委員会を開催し、大会の振り返りと11月20日の埼玉県との懇談についてなど確認しました。

(3) 諸団体

- ① 10月13日、埼玉県立大学地域包括ケア推進セミナー・ネットワーク会議では、NPO法人新しい住まい方研究所 代表理事の太田好泰さん「コンドウハウスで実現したいこと」、ASユナイテッド代表中村 臣宏さん「地域のCP サッカークラブ(脳性まひ7人制サッカー)の活動」について学びました。
- ② 10月20日、埼玉県立大学地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議(川口・草加・越谷)では、無料・無償の学習支援で貧困の負の連鎖を断ち切る仕組みづくりとして無料の教育システムを輸出し、世界に貢献するCAMELの取り組みを学びました。
- ③ 10月24日、すべてのくらしは憲法25条から埼玉集会の実行委員会が開催され、2月24日に開催する集会に関する話し合いを行いました。
- ④ 10月30日、埼玉婦人問題会議による「埼玉県困難な問題を抱える女性支援基本計画(案)説明会」が開催され、常務理事が参加しました。
- ⑤ 10月31日、埼玉弁護士会主催シンポジウム「悪質商法被害を防ぐ 特定商取引法改正を！」が行われ、約150人が参加しました。埼玉県生協連からは4人が参加しました。埼玉弁護士会から現状の報告と改正すべき問題についての提起が行われたほか、埼玉県内で活動する団体からの報告がありました。

4. 今後の課題

- 2023年度第4回理事会をはじめとする11月開催機関会議の準備を進めます。
- 埼玉県議会会派との懇談に向けて、各会派への要請を行います。
- 12月21日開催の監事研修・交流会の事前アンケート実施など準備を進めます。
- 2024年1月24日に開催を予定している新春賀詞交換会の来賓・招待者の確定とご案内を進めます。
- 年内開催の埼玉県生協連主催企画(組合員活動交流会・助け合い活動交流会・監事研修会)の参加集約と準備を進めます。
- 彩の国食と農林業の祭典ドリームフェスタのブース出展に向けて、参加生協と準備を進めます。
- 埼玉まるごとヘルスチャレンジ2023を周知し参加を募ります。また、健康メールマガジンを配信します。
- 11月11日に開催を予定している、4都県生協連共催企画の準備を進めます。
- 11月13日・28日開催県内消費者団体地区別研修会のよびかけと準備を進めます。

- 県内団体と開催する 2024 年 2 月 24 日すべてのくらしは憲法 25 条から埼玉集会、3 月 10 日さよなら原発埼玉県民学習会の案内を進めます。

【現在、開催を予定している会議など(機関会議を除く)】

	名称・会場・定員	開催日	対応
1	第 59 回埼玉県消費者大会 第 10 回実行委員会	11 月 20 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	オンライン併用 埼玉会館 3B
2	第 59 回埼玉県消費者大会 埼玉県と実行委員会との懇談会	11 月 20 日 (月) 13 時 30 分～15 時 30 分	埼玉会館 3C
3	埼玉平和・市民 5 団体懇談会	11 月 8 日 (水) 14 時 00 分～16 時 00 分	埼玉県生協連 多目的室

埼玉消費者被害をなくす会 2023年10月度のまとめと課題

2023年10月31日 埼玉消費者被害をなくす会 事務局

1. 全体状況

- (1) 10/27、10月差止請求・被害回復検討委員会を開催しました。偶数月継続検討中事案(差止請求22・被害回復10)、情報提供・新規取り扱い検討事案6を検討しました。
- (2) 10/13、2023年度第4回活動委員会を開催しました。「アンケート・めやすばこ」の検討、埼玉県消費者大会第8回実行委員会報告などについて話し合いました。

2. 各種事業

- (1) 差止請求事業・被害回復事業
10/31現在、差止請求では継続検討事案(取り扱い検討含む)が42件、被害回復では継続検討事案(取り扱い検討含む)が21件です。情報提供は10件でした。貴和設備に対する差止請求訴訟は、次回11月21日に弁論準備を予定しています。
- (2) 講演会・講座等の企画・運営事業
 - ① 10/14、消費者力アップ学習会 Vol.2「すすむキャッシュレス決済～私たちのくらしはどう変わるのか」をテーマに、東洋大学教授 川野祐司さんを講師にハイブリッド形式で開催し、73人が参加しました。
詳しくはhttp://saitama-higainakusukai.or.jp/topics/231024_01.html
 - ② 消費者力アップ学習会 Vol.3は、12月14日(木)「終活のはじめの一步」をテーマに、一般社団法人 生前整理普及協会 讃岐 峰子さんを講師にハイブリッド形式で開催することになり、実施に向けて準備を進めます。
- (3) 埼玉県委託事業(各種消費者問題に関する改善事業)
 - ① 高齢者等見守り促進事業
 - 今月は6自治体を訪問し、5月からの訪問自治体は累計25件となりました。地域協議会設置自治体数に変化はなく37自治体です。
 - ② 消費者被害防止サポーター活動推進事業 サポーター登録数1,038人
 - 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・地域別交流会は全日程終了し、延べ118人が参加しました。
 - 11月からは消費者被害防止サポーター養成講座を6会場で実施予定です。
 - ③ インターネット適正広告推進事業
 - 10月のインターネット広告監視業務では約570件を検索しました。
 - 10/17、景品表示法啓発講座「大丈夫？ネット注文する前に気をつけたいこと(初級編)」を東上パールビルディング(川越市)で開催し、30人が参加しました。11/9に春日部市で初級編を、12/8にさいたま市で上級編を実施予定です。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク。

- (1) 10/16、2023年度第1回埼玉県・適格消費者団体連絡協議会に参加し、情報連携についての協議と、活動状況について報告しました。
- (2) 10/16、埼玉県消費生活支援センター主催令和5年第1回ネット広告に関する情報交換会に参加し、ネット広告に関する課題について話し合いました。
- (3) 10/25、第59回埼玉県消費者大会が開催されました。なくす会では実行委員会団体として大会運営、午後から行われた分科会運営に関わりました。

4. 今後の課題

- (1) 11月理事会に向けて、特定適格消費者団体としての業務規程一部変更等を準備します。
- (2) 2024年3月に更新を迎える適格・特定適格消費者団体の提出書類の準備をすすめます。

埼玉県生協連 2023 年度第 2 回活動委員会報告

2023 年 10 月 24 日 埼玉県生協連

日時	2023 年 10 月 24 日(火) 13 時 30 分～16 時 40 分
場所	パルシステム埼玉 ぱる★てらす 3 階多目的室
出欠	大久保 (委員長)、深堀・後藤(コープみらい)、佐々木・柴山(パルシステム埼玉)、高橋・小山 (生活クラブ)、大野・村崎 (医療生協さいたま)、中山(労済生協)、千葉(東都生協) 埼玉県生協連:吉川会長理事、事務局:加藤・清水桂・清水奈美 オブザーバー:井爪(日本生協連中央地連) なお、高橋委員、小山委員、村崎委員はオンラインで出席しました。
	下線欠席／敬称略

開会に先立ち、吉川会長理事からあいさつを行いました。

1. 話し合いたいこと

- (1) 各生協より、上期組合員活動のふりかえりを報告し、交流を行いました。交流を受けて、11/21 に開催する組合員活動交流会の内容についての話し合いを行いました。
- (2) 埼玉県生協連の取り組みについて、次のことを提案・報告し、話し合いました。彩の国食と農林業ドリームフェスタの各生協が出題するクイズについては、11 月上旬を目安に集約し、埼玉県生協連でブースに貼り出しボードを作成することを確認しました。

埼玉まるごとヘルスチャレンジ 2023、食と農林業の祭典ドリームフェスタの出展内容の交流、助け合い活動交流会について、埼玉県生協連第 2 回学習会について、第 29 回 JA 埼玉県女性組織協議会との早春交流会について、各分野担当者の情報交換会の開催について、第 60 回埼玉県消費者大会に向けて、2023 年度埼玉県生協連学習会・交流会等日程、テーマ一覧

2. 報告したいこと①として、次のことを報告しました。

埼玉県生協連 8・9 月度のまとめと今後の課題。2024 年度埼玉県予算執行に関する県議会会派ヒアリング報告、4 都県生協連共催企画案内、8/27 九都県市合同防災訓練報告、9/9 埼玉県生協連ピースフォーラム報告、2023 年度県内消費者団体地区別研修会ご案内、消費者力アップ学習会 Vol.3 案内、景品表示法啓発講座案内、消費者被害防止サポーター養成講座案内、消費者被害アンケート「めやすばこ」ご協力のお願ひ、消費者力アップ学習会 Vol.2 報告、2023 年度県内消費者団体全体研修会報告

3. 報告したいこと②として、次のことを文書報告しました。

2023 年度第 3 回理事会 (表紙)、2023 年度第 1 回活動委員会開催報告、2023 年度第 2 回災害対策委員会報告、活動日誌と予定。

4. 終了後には、パルシステム埼玉 ぱる★てらすの施設見学を実施しました。

次回活動委員会は、2023 年 12 月 19 日(火) 13 時 30 分～ 生活クラブ生協北本生活館

速報 第59回埼玉県消費者大会報告

全体会には Youtube 視聴含めて約 360 人に参加いただき、開催しました

第59回埼玉県消費者大会実行委員会事務局

10月25日(水)、「誰ひとり取り残さない社会を目指して～わたしたち消費者の行動が未来をきめる～」を大会スローガンに、第59回埼玉県消費者大会が開催されました。開会にあたり、アトラクションとして、福島県双葉町から埼玉県に避難されてきた箏奏者 大川義秋さんに、箏を演奏いただきました。次に、実行委員会を代表して柿沼トミ子実行委員長のあいさつがあり、3月から22の消費者団体が毎月実行委員会を開催して、話し合いを積み重ね、準備してきたこと、また、ウクライナ侵攻など厳しい世界情勢の中で、消費者・市民としてどう行動するか、寺島実郎さんにご講演いただくこと、午後の分科会では食や環境をテーマに開催することを報告しました。



箏奏者 大川義秋さん



実行委員長あいさつ

次に、来賓の砂川裕紀埼玉県副知事より、大野知事からのメッセージを代読いただきました。消費者大会は、埼玉の食料や農業、プラスチックごみをはじめとする環境問題を学習する有意義な場であること、若年層や高齢者の消費者被害が増加している中、消費者教育の充実や地域での見守りを強めていくために、消費者団体のいっそうの協力を呼びかけられました。



来賓あいさつ

記念講演では、一般財団法人日本総合研究所会長 寺島実郎さんから「世界と日本のこれから わたしたちの暮らしを考える～消費者・市民としてどう行動するか～」と題して講演いただきました。寺島さんからは、世界に占める日本の国内総生産(GDP)のシェアが1994年のピーク時には18%あったものが、2022年には4%まで縮小したことを挙げ「健全な危機感を持つべき」と言われ、シンガポールなどに大きく差をつけられているひとり当たりGDPでも台湾や韓国に抜かれるとの見方を示し、「日本がアジアの先頭を走っているというのは錯覚である」と厳しい見方を示されました。さらに、米中貿易の影響と日本海物流の関係、その中での埼玉県のロケーションが重要かつ戦略的であると指摘、また、日本社会の高齢化と高齢者がどのような「結節点」を持つかが今後の社会の行方を握るとし、高齢者と女性の活躍が日本の変革の鍵であると結ばれました。



寺島実郎さん

次に、実行委員会で話し合いを重ねて確認した「実行委員会報告」「埼玉県への要請書」の主要な内容について、吉川尚彦事務局長から報告しました。全体会の最後には、生活協同組合パルシステム埼玉の麓真二さんから「大会アピール」が提案され、拍手で確認されました。



事務局長による実行委員会報告

午後は食と環境の2つの分科会が開催されました。

食分科会は「学校給食の現状から 埼玉の食料と農業の未来を考える」をテーマに、3人の助言者から報告いただき、質疑応答、意見交換しました。

助言者 学校給食歴史館館長 中島勝男さん 「学校給食の歴史と地産地消」、助言者 草加・学校給食を考える会 菅千代子さん 「草加市での地域と結びついた学校給食の実践」、助言者 中森農産(株) 代表取締役社長 中森剛志さん 「若者が担う農業と食料安全保障」

環境分科会は「プラスチックごみの行方を知ろう ～私たちはどう行動すればいいのか～」をテーマに、埼玉県環境部資源循環推進課課長 尾崎範子さんにお話しいただき、加須市、新座市のごみ分別などの現状報告をしました。分科会は、会場とZoomのハイブリッドで行いました。



食分科会



環境分科会

参加者

全体会 362 人（会場 265 人・YouTube 視聴 97 人 ＊視聴申し込み時） 食分科会 121 人（会場 88 人・Zoom33 人）、環境分科会 107 人（会場 90 人・Zoom17 人） 分科会計 228 人に参加いただきました。

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

イスラエルとパレスチナにおける武力行為の即時停止と人道支援実施の要請

イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区との間での軍事衝突により、双方の民間人に大きな被害が発生しています。これまでの空爆等により、甚大な被害が発生している上に、国外からの支援物資もほとんど届かず、深刻な事態が生じています。またイスラエルは、ガザ地区への軍事侵攻を明言しており、これが行われると、民間人に壊滅的な被害をもたらすことが懸念されます。

現在発生している凄惨な事態を止めるためには、理由の如何を問わず、これ以上の民間人被害を発生させないために、即時停戦が必要です。国際人道法では、民間人を巻き込む無差別攻撃は禁止されており、医療・学校施設への攻撃を禁止し、また人質を認めていません。これらの法規が、このところの軍事衝突で数多く守られない事態がまかり通っていることは許しがたい事実です。

私たちはイスラエルおよびパレスチナだけでなく、各国政府などと友好関係を有する日本政府に対し、双方の政府や関係機関へ暴力の連鎖を停止するよう具体的な働きかけを強めることを求めます。また、被災者の救援が進むようイスラエル・パレスチナ側双方に働きかける外交努力を求めます。さらに、パレスチナ問題の本質的解決へ向けた一層の外交努力がなされることを要請します。

現在、発生している一連の出来事に、多くの生協組合員が大変心痛めています。日本政府に強く要望するとともに、私たち生協も平和の実現を求める取り組みを進めてまいります。

2023年10月31日
埼玉県生活協同組合連合会
会長理事 吉川尚彦

4 都県生協連 共催企画

どうする若者、 どうする私たち

～若者との対話から、未来を考える～

参加無料

11.11 土

14:00～16:30

会場参加 50名

オンライン参加 150名

(アーカイブ配信あり)

今、様々な社会活動や意見の発信などに積極的に取り組む若者たちが増えています。

今回の企画では、積極的に活動する若者たちの価値観や視点、また彼らが目指すこれからの社会など、そのリアルな声を聴くことから多様な人々や団体などとの連携（ネットワーク）の在り方や活動の持続、継承などについて考えます。

プログラム予定

- 14:00 **報告『わたしたちの活動とは…』**
パネリストの皆さんから、それぞれの活動についてお話しいただきます。
- 15:10 **パネルディスカッション** 『わたしたちが活動する理由…』
- 16:00 **質疑応答&まとめ**

申し込み方法

QRコードから、WEBフォームでお申し込みください。



締切
11月5日

QRコード

[HTTPS://FORMS.GLE/AX3A7F2EHNRS4FH7](https://forms.gle/AX3A7F2EHNRS4FH7)

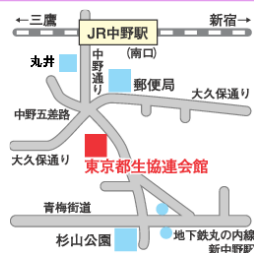
◆お申し込みの際に、①会場参加 ②当日ZOOMでオンライン参加 ③後日アーカイブ配信 のいずれかをお選びください。

会場

東京都生活協同組合連合会

会議室

- ◆交通機関
- ・JR中央線・総武線、東京メトロ東西線 中野駅南口6分
- ・東京メトロ丸の内線 新中野駅 杉山公園口下車8分



パネリスト

ファシリテーター 日本生活協同組合連合会
二村睦子さん 常務理事（運営・組織担当）



NO YOUTH NO JAPAN代表
FIFTYS PROJECT代表

20代の投票率が80%を超えるデンマークに2019年に留学したことをきっかけに、日本のU30世代の政治参加を促進する「NO YOUTH NO JAPAN」を設立し、代表理事を務める。団体名には「若い世代なくして日本はない」という意味を込めた。Instagramなどを利用したSNSメディアの運営や選挙の投票率向上に取り組む。



高橋悠太さん カクワカ広島共同代表
KNOW NUKES TOKYO 元共同代表

中高時代、核廃絶署名活動などに参加し、核問題に関わり始める。2017年にノーベル平和賞を受賞した「ICAN」キャンペナーとして、核兵器禁止条約を推進。2019年、核政策について尋ねる国会議員との面会を行う「カクワカ広島」を立ち上げ、現共同代表。2022年、核兵器禁止条約締約国会議、NPT再討議に渡航し、現地でスピーチした。



都築則彦さん NPO法人ORIGAMI理事長
EARTH LIGHT PROJECT代表

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本最大の学生団体「おりがみ」を設立。400名以上の学生メンバーと共に、聖火リレー期間に炎を成層圏で点灯・映像配信する「EARTH LIGHT PROJECT」をはじめとした数々のプログラムをプロデュース。その後、日本のボランティア文化に問題意識を持ち、NPO法人を設立。

【共催】東京都生活協同組合連合会
神奈川県生活協同組合連合会

埼玉県生活協同組合連合会
千葉県生活協同組合連合会

お問合せ



埼玉県生協連
048-844-8971

2023 年度

県内消費者団体地区別研修会ご案内



埼玉県委託事業として、年間 2 回、県内消費者団体研修会をおこなってきました。

8 月の全体研修会は、消費生活相談員の鎌田伊津子さんを講師に「知は力なり！契約のキホンと最新のトラブル情報を知って消費者力アップ」と題して、学習しました。また、午後からは、4 年ぶりに消費者団体の活動交流を行いました。

全体研修会に続く地区別研修会は、今年も 4 会場とも別のテーマで開催します。

11/13「安心して暮らし続けるために～人生 100 年時代、どう生きる～」、11/28「～わたしたちの衣服、地球環境にどう影響している？～ サステナブルファッションについて学ぼう」、1 月「電力をめぐる状況とわたしたちの電気料金（仮）」、2 月「意外と多い 高齢者の低栄養 ～ちょっとした工夫でもっと健康に～（仮）」をテーマに、会場参加と、Zoom によるオンライン参加を併用して開催します。

このご案内では、11 月中に開催する 2 会場についてご案内します。

ご自分の活動地域に関わらず、ご興味のある研修会、どこでも、何回でも参加いただけます。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

1. 開催一覧（日時と会場、学習テーマなど）

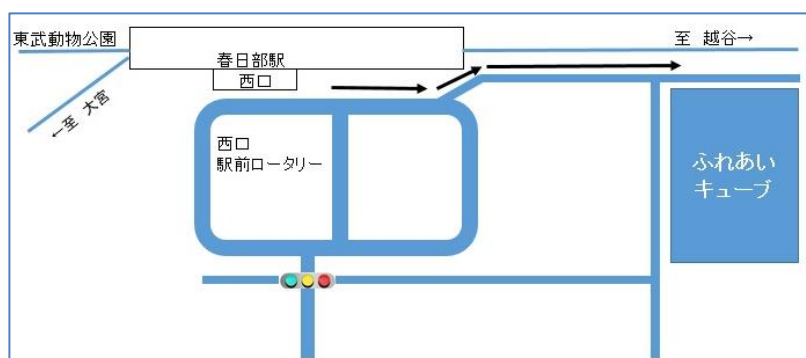
<p>①11 月 13 日（月）10 時 30 分～12 時 30 分 会場 上尾東武ホテルコミュニティホールと Zoom によるオンライン 上尾市柏座 1-1-21 JR 高崎線上尾駅東口徒歩 1 分 「安心して暮らし続けるために ～人生 100 年時代、どう生きる～」 講師：NPO 法人助け合い村理事長 高野 保 さん 定員：会場参加 80 人 Zoom 参加 100 人 申込締切 11/10（金）</p>	<p>今回は、 11 月の 2 日程のみ、 申込いただけます</p>
<p>②11 月 28 日（火）10 時 30 分～12 時 30 分 会場 ふれあいキューブ多目的ホール C 春日部市南 1-1-7 東武春日部駅西口徒歩 5 分 「～わたしたちの衣服、地球環境にどう影響している？～ サステナブルファッションについて学ぼう」 講師：環境省ファッションと環境タスクフォースメンバー奥山 航 さん 定員：会場参加 50 人 Zoom 参加 50 人 申込締切 11/22（水）</p>	

2. 会場案内

- (1) 11月13日(月) 10時30分～
上尾東武ホテル(別館)
コミュニティホール
JR上尾駅(東口) 徒歩1分



- (2) 11月28日(火) 10時30分～
ふれあいキューブ春日部
多目的ホールC
東武春日部駅(西口) 徒歩5分



3. 申込方法

スマートフォンなどで、下記二次元バーコードを読み取って、Google フォームから参加申し込みください。



Google フォームへの入力がむずかしいようでしたら、お手数でも、同封の申込用紙にご記入いただき、メールに添付するか、FAX でお送りください。FAX をお送りいただく場合は、お電話で送った旨お知らせください。

会場参加、Zoom 参加とも、先着順になりますので、よろしく願いいたします。

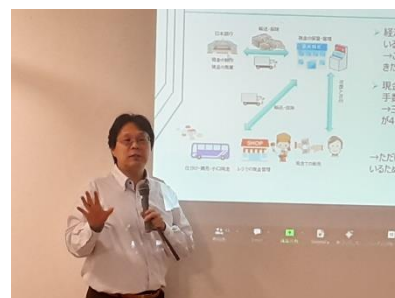
会場参加の方には、実費負担がないように交通費相当額を報償費として支払いますので、申込時に交通費のご記入にご協力ください。

お申込み・お問い合わせ 埼玉県消費者団体連絡会 事務局 清水桂
電話 048-844-8971 FAX 048-844-8973 (9時～17時 土日祝休)
Eメール k.shimizu@saitama-k.com

すすむキャッシュレス決済 ～私たちのくらしはどう変わるのか～

2023 年 10 月 14 日 埼玉消費者被害をなくす会

2023 年 10 月 14 日(土)10 時より、埼玉会館 5C 会議室およびオンライン(Zoom)にて、川野 祐司さん(東洋大学経済学部 教授)を講師に迎え学習会を開催、会場 73 名が参加しました。



【キャッシュレスとは何か】

私たちの生活はすでにキャッシュレス。給与は銀行に振り込まれ、キャッシュレスでお金を受け取っているが、わざわざ現金に交換して使っている。現金を使うことは経済全体で数兆円のコストが発生する。これまでは銀行が多くのコストを負担してきたが、今後はコスト転嫁が進む。現金利用の削減は、現金の管理コストを大きく引き下げる。キャッシュレス化により店頭で扱う現金が減るほか、「支払い」という行動がデジタルデータ化され、病院と薬局の連携やバスルートの効率化など、社会問題の解決に活用できる。ただし、現金しか使えない人々をどう考えるのかという議論が必要。

【世界のキャッシュレス事情】

世界のキャッシュレス化の流れが日本に到達している。デビットカードの利用が多いヨーロッパ。通信会社が国境を越えたサービスを展開しているアフリカ。個人間支払いのシステムが拡大する北米・南米。電子マネーが普及しているアジア。途上国ではすでにデジタル通貨が実用段階で、先進国でも研究が進んでいる。

【新しい技術と上手に付き合う】

今後は現金の利用シーンが減ることは間違いない。いざという時に切り替えられるよう、どれかを試してみるなど情報収集は必要。ただし「たくさん勉強しないと使えない」サービスは避けること。現在は使いたい人が使えばよいキャッシュレスだが、今後はすべての人(外国人、障がい者、子どもも含め)が使えるようにする必要がある。また、新しい技術には犯罪が付きまとう。「あなただけに特典」はあり得ない。「いつもと違うこと」が起きたら、一旦中断し、相談すること。知識があると思いついでいる人や相談しない人は詐欺師の恰好のターゲットになる。日本銀行が運営する「知るぽると」など正しい情報を手に入れることが大事。

【金融リテラシー教育の必要性】

金利の計算や株式投資などの資産運用に偏りがちだが、本当に必要なのは、お金と生活とのかかわりについて学び、給与などの収入に対し、生活費、近い将来発生する費用、不備の事態への備え、老後費用など、計画的に予算管理して支出を考えること。

【参加者からの感想】(一部抜粋、概要)

- 本当に必要なのはお金と生活とのかかわりについて学ぶこと、キャッシュレスを使いたくなくても使わなくてもよいが、なにか試してみるのもおススメ、使わなくても情報収集は必要というお話は重要と思った。自分のニーズに合わせて選び、安全に使うように気をつけることが大切と思う。
- 現金が当たり前過ぎてきましたが、キャッシュレスの利点も良く分かりました。
- キャッシュレス決済が求められている背景など、初めて知ることが多く、勉強になりました。
- 金融リテラシー教育としての予算管理やライフプランニングの重要性についてのお話が興味深かった。

終活のはじめの一步

～前向きに過ごすために今からできる生前整理～

開催
日時

2023年 12月14日 (木)

受付開始 9:45 10:00~11:45

参加費
無料

開催
方法

会場(埼玉会館7A会議室)

およびオンライン (Zoom)

会場: 50人 オンライン: 100人

自分らしく、より良い未来への一步をサポートする、「捨てる」からはじめない片付けなどを学びます。
終活のはじめの一步を踏み出しましょう。



講師: 讚岐 峰子さん
一般社団法人 生前整理普及協会

【申込締切】

2023年 12月10日 (日) (要申込・先着)

【申込方法】

①専用申込フォーム

<https://forms.gle/8sroREhRKi3BMfTy6>

②メール nakusukai.05@saitama-k.com

件名: 12/14学習会

必須事項: お名前(フリガナ)、会場かオンライン(どちらか)

緊急時連絡先(なるべく携帯電話)

③電話 048-844-8972 (月~金 10:00~16:00)

※いただいた個人情報については、本企画のみで使用します。

【お願い】 通信環境の確認や設定については、各自でのご対応をお願いします。



オンライン参加の皆さんへは、学習会参加に必要な情報(専用URLや参加にあたってのお願いごと)は開催2日前を目安に、入力いただいたメールアドレス宛に配信いたします。メールアドレスの入力間違いにご注意ください。

【主催】 (特非) 埼玉消費者被害をなくす会
問合せ: 048-844-8972 (月~木 10:00~16:00)

2023年 消費者被害アンケート*めやすばこ《終活について》

終活についてどんな準備をされているのか調査し、今から知っておきたいことやトラブル事例を共有します。終活なんてまだ先！と思っている方も、ぜひご回答ください。アンケートは右記二次元コードからも回答できます。



【Q1】あなたの年代を教えてください

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代 ⑨90代～

【Q2】終活を初めていますか、どれか一つを選んでください

- 始めている
- 始めようと思っている・学習したいと思っている
- 始めていない

以下の項目のうち「トラブルになったことがある」「困っていることがある」に✓を入れた場合、() 内や欄外に、内容について簡単にご記入ください

【Q3】金銭的な事柄について、当てはまる口すべてに✓を入れてください

- 老後資金がいくらからいあるか、把握している
- 老後をどのように過ごすか、計画を持っている
- 相続税の基礎控除額を知っている
- 相続に関し遺言書を用意している
- 金融資産（銀行口座、有価証券、終身保険など）をまとめたり、リスト化している
- クレジットカードの種類や、ローン・負債をリスト化している
- 年金の種類や受取口座を家族に伝えている
- 金銭的な事柄に関してトラブルになったことがある ()
- 困っていることがある ()

【Q4】生活について、当てはまる口すべてに✓を入れてください

- 健康に不安を感じた時などに相談する相談先がある
- かかりつけ医を家族に知らせている
- 高齢者施設の種類の違いを知っている
- 高齢者施設の入居や退去に関してトラブルになったことがある ()
- 終末期医療について決め、わかるようにしている
- 成年後見制度について知っている
- 困っていることがある ()

【Q5】デジタル終活（デジタルデータの整理のこと）について当てはまる口すべてに✓を入れてください

※デジタルデータとは、パソコンやクラウドに保存されたデータ、SNS アカウントなどの ID やパスワード、各サービスのログイン情報、アプリ、連絡先やメールアドレスのこと

- デジタル終活という言葉聞いたことがある
- 聞いたことがない
- デジタル終活に関してトラブルになったことがある ()
- 困っていることがある ()

学習会・交流会等日程およびテーマ一覧

2023 年 11 月 2 日 埼玉県生協連

日時	学習会・催事名と会場	主催・対象	テーマ	備考
4 月				1
5 月				
6 月				
1 日 (木) 10:30～12:30	埼玉県生協連第 1 回学習会 埼玉会館ラウンジおよびオンライン 37 人	主催：埼玉県生協連 対象：会員生協および関係する団体のメンバー	サステナブルファッションについて学ぶ 講師：環境省「ファッションと環境」タスクフォースリーダー 岡野隆宏さん	埼玉県補助事業
20 日 (火) 11:30～12:30	総会記念講演 埼玉会館 3B 会議室およびオンライン 67 人	主催：埼玉消費者被害をなくす会 なくす会会員、一般募集	「広告が、あなたを狙い撃ち！」 -あなたのスマホやパソコンに届く広告のしくみ- 笠井北斗さん(日本アフィリエイト協議会代表理事)	※一般募集の方はオンラインのみとなります
7 月				
1 日 (土) 14:00～16:30	埼玉協同労働推進ネットまちづくりフォーラム さいたま市文化センター 多目的ホール	主催：埼玉協同労働推進ネットワーク 対象：関心のある役職員・組合員		
18 日 (火) 10:00～11:50	第 59 回埼玉県消費者大会プレ学習会 埼玉会館 3C 会議室 51 人およびオンライン 75 人 計 126 人	主催：同実行委員会 対象：実行委員会参加団体構成員はじめどなたでも	「信じる人、信じない人の心理 ～消費者被害にあわないために～」 講師：西田公昭さん(立正大学教授)	埼玉県補助事業
19 日 (水)	埼玉労協福祉フォーラム			
20 日 (木) 10:30～12:30	埼玉県生協連役職員研修会 埼玉会館ラウンジ 20 人およびオンライン 27 人 計 47 人	主催：埼玉県生協連 対象：会員生協役職員・組合員リーダー層福祉事業職員や助け合い活動の担い手等	「みんなが当事者です 介護保険の改定」 -現状を知ること、いま考えるべきこと、できること- 村城正さん(社会福祉法人 協同福祉会理事長) 実践報告 医療生協さいたま 飯塚雄大さん	埼玉県補助事業
30 日 (日) 10:00～11:45	第 38 回埼玉県原爆死没者慰霊式 さいたま共済会館 130 人およびオンライン 30 人 計 160 人	主催：埼玉県原爆被害者協議会 同実行委員会		YouTube でのライブ配信 https://www.youtube.com/watch?v=SGsjdjY3nw4
8 月				
1 日 (火) 10:00～(予定)	第 40 回平和のための埼玉の戦争展 実会場イベント埼玉会館大ホール・ホワイエ 参加のべ 800 人	主催：同実行委員会 対象：広く組合員・県民 平和活動の担い手等		

8日(火)	消費者力アップ学習会 Vol.1 10:00~12:00 浦和コミュニティセンター第14集会室 実参加15人・オンライン18人	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般募集	親子で学ぶインターネットとの付き合い方 ～保護者としてできること、子どもが気を付ける ことは何?～	埼玉県補助事業
27日(日) 9:00~13:30	第44回九都県市合同防災訓練・防災フ ェア 志木市役所周辺・いろは親水公園 約8,000人	主催：埼玉県、志木市	物資配布訓練を実施 物資配布は約700人に配布	
29日(火) 10:30~15:00	県内消費者団体全体研修会 さいたま共済会館601およびオンライン 実参加36人およびオンライン30人 計66人	主催：埼玉県(県の委託で埼玉消団連が 運営)	テーマ：「知は力なり! ~契約のキホンとトラブ ル事例を知って消費者力アップ~」 講師：鎌田伊津子さん(消費生活相談員) 午後：団体活動交流	埼玉県委託事業
30日(水) 31日(木)	きょうされん第46回全国大会 in 埼玉 約3,200人参加	主催：同実行委員会		ボランティア協力
9月				
9日(土) 10:30~13:00	埼玉県生協連ピースフォーラム 浦和コミュニティセンター第13集会室 36人	会員生協役職員・組合員 ヒロシマ・ナガサキ平和行動参加者	テーマ ヒロシマ・ナガサキから未来につなぐこと 会員生協からの報告とワークショップ	埼玉県補助事業
10月				
14日(土)	消費者力アップ学習会 Vol.2 埼玉会館5C会議室・オンライン 実参加22人+オンライン51人 計73人	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般募集	すすむキャッシュレス決済 私たちのくらしはど う変わるのか 講師：川野祐司さん(東洋大学経済学部 教授)	埼玉県補助事業 オンライン
17日(火)	景品表示法啓発講座(初級編) 東上パールビルディング・オンライン 実参加13人+オンライン23人 計36人	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般募集	大丈夫? ネット注文する前に気をつけたいこと	埼玉県委託事業 オンライン併用
25日(水) 10:30~15:30	第59回埼玉県消費者大会 埼玉会館小ホール・会議室、オンライン 全体会会場265人・Youtube視聴97人 計362人 食分科会会場88人・Z33人 環境分科会会場90人・Z17人 分科会 計228人	主催：同実行委員会 対象：実行委員団体構成メンバー 広く組合員・県民・一般も歓迎	記念講演講師：寺島実郎さん(日本総合研究所会 長・評論家) 食分科会「学校給食の現状から埼玉の食料と農業 の未来を考える」 環境分科会「プラスチックごみの行方を知ろう ～私たちはどう行動すればよいのか～」	埼玉県補助事業
11月				
2日(木)	埼玉労協教育フォーラム			
9日(木)	景品表示法啓発講座(初級編) コープみらいコーププラザ春日部 オンライン併用	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般募集	大丈夫? ネット注文する前に気をつけたいこと	埼玉県委託事業 オンライン併用

11日(土) 14:00～16:30	4都県生協連共催学習会 東京都生協連会館会議室およびオンライン	共催：4都県生協連（千葉・東京・神奈川県・埼玉）	能條桃子さん（NO YOUTH NO JAPAN 代表）、高橋悠太さん（カクワカ広島共同代表）、都築則彦さん（NPO 法人 ORIGAMI 理事長）の各団体から活動報告とパネルディスカッション	埼玉県補助事業 オンライン併用
13日(月) 10:30～12:30	県内消費者団体地区別研修会① 上尾東武ホテルコミュニティホールおよびオンライン	主催：埼玉県（県の委託で埼玉消団連が運営）	「安心して暮らし続けるために ～人生100年時代、どう生きる～」 講師：高野保さん（NPO 法人助け合い村 理事長）	埼玉県委託事業 オンライン併用
25日(土) 26日(日)	彩の国食と農林業の祭典（ドリームフェスタ）熊谷スポーツ文化公園（熊谷市）	主催：同実行委員会		
21日(火) 10:30～14:30	埼玉県生協連組合員活動交流会 埼玉会館 3C 会議室	主催：埼玉県生協連 対象：組合員リーダーおよび役職員	協同組合のアイデンティティ声明の改定についてミニ学習、①「この間の特徴的な取り組み」②「担い手づくりに関わる取り組み」についての活動報告と交流	埼玉県補助事業
28日(火) 10:30～12:30	県内消費者団体地区別研修会② ふれあいキューブ多目的ホールC（春日部）およびオンライン	主催：埼玉県（県の委託で埼玉消団連が運営）	「～わたしたちの衣服、地球環境にどう影響している？～ サステナブルファッションについて学ぼう」 講師：環境省ファッションと環境タスクメンパー 奥山 航 さん	埼玉県委託事業 オンライン併用
12月				
8日(金)	景品表示法啓発講座（上級編） 埼玉会館 オンライン併用	主催：埼玉消費者被害をなくす会 一般募集	大丈夫？ネット注文する前に気をつけたいこと	埼玉県委託事業 オンライン併用
14日(木)	消費者力アップ学習会 Vol.3 埼玉会館 7A 会議室・オンライン	主催：埼玉消費者被害をなくす会 対象：一般募集	終活のはじめの一步～前向きに過ごすために今からできる生前整理～ 講師 讃岐峰子さん 一般社団法人 生前整理普及協会	埼玉県補助事業 オンライン併用
18日(月) 10:30～14:30	埼玉県生協連助け合い活動交流会 埼玉会館 7B 会議室	主催：埼玉県生協連 対象：助け合い活動に関わる組合員・役職員	NPO 法人バディチームによる訪問型支援の取り組みを学ぶ、各生協の助け合い活動の報告と交流	埼玉県補助事業
21日(木)	埼玉生協連監事研修交流会 さいたま共済会館 602 会議室	主催：埼玉県生協連 対象：会員生協監事・役職員	日本生協連の職員を講師に監事の役割について学習するとともに、交流を行います。	埼玉県補助事業
1月				
24日(水)	新春賀詞交換会 ロイヤルパインズホテル浦和 スカイラウンジ	主催：埼玉県生協連 対象：招待者、埼玉県生協連役員、会員生協役員		
26日(金) 10:30～12:30	県内消費者団体地区別研修会③ 埼玉会館 7B 会議室およびオンライン	主催：埼玉県（県の委託で埼玉消団連が運営）	「電力をめぐる状況とわたしたちの電気料金」	埼玉県委託事業

2月				
1日(木) 10:30~12:30	県内消費者団体地区別研修会④ 東上パールビルディング川越会議室	主催：埼玉県（県の委託で埼玉消団連が運営）	「意外と多い 高齢者の低栄養 ～ちょっとした工夫でもっと健康に～」	埼玉県委託事業
9日(金)	埼玉労福協防災セミナー			
20日(火) 10:30~12:30	埼玉県生協連第2回学習会 埼玉会館ラウンジおよびオンライン	主催：埼玉県生協連 対象：対象：会員生協および関係する団体のメンバー	しまねの「おたがいさま」について学ぶ	埼玉県補助事業
24日(土) 13:00~16:30 予定	すべてのくらしは憲法25条から第5回 埼玉集会 さいたま共済会館601・602会議室	主催：同実行委員会 対象：一般応募	講師 藤田早苗さん	
3月				
6日(水) 10:30~14:30	JA埼玉県女性組織協議会との第29回早春交流会 会場未定	共催：JA埼玉県女性組織協議会・埼玉県生協連 対象：組合員リーダー	「おたがいの組織について知る」をテーマに活動報告・交流	

2023 年度 埼玉県生協連 日誌と予定

2023 年 10 月	
2	埼玉まるごとヘルスチャレンジ 2023 第 3 回実行委員会 (吉川・大久保・清水桂・清水奈美) 埼玉消費者被害をなくす会業務規程見直し検討チーム会 (吉川・清水奈美)
3	こくみん共済 coop セミナー (吉川・大久保) 第 68 回埼玉母親大会第 8 回常任委員会 (清水桂)
5	彩の国優良ブランド推奨審査会 (清水奈美)
6	埼玉消団連 10 月度幹事会 (吉川・大久保・清水桂)
10	3R 全国ネットオンラインセミナー第 15 回「サーキュラーエコノミー時代の拡大生産者責任とは」 (清水桂)
11	第 59 回埼玉県消費者大会第 8 回実行委員会 (吉川・大久保・清水桂・加藤・清水奈美) 憲法 25 条埼玉集会実行委員会事務局会議 (加藤)
12	協同組合のアイデンティティオンラインワークショップ (吉川・大久保)
13	埼玉消費者被害をなくす会活動委員会 (清水奈美) 埼玉大学ダイバーシティ協同組合論講座 (吉川・加藤) 埼玉県立大学地域包括ケア推進セミナー・ネットワーク会議 (吉川・清水桂)
14	埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会 vol.2 (吉川・加藤・清水桂・清水奈美)
16	2023 年度第 1 回埼玉県・適格消費者団体定期協議 (吉川・清水奈美) 埼玉県消費生活センター主催ネット広告に関する情報交換会 (吉川・清水奈美)
17	埼玉消費者被害をなくす会景品表示法啓発講座 (吉川・加藤・清水奈美)
18	適格消費者団体連絡協議会企画委員会 (清水奈美)
19	千葉県生協連 令和 5 年度政策検討会 (吉川) 全国消団連第 3 回理事会 (吉川)
20	埼玉県立大学地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議 (川口) (清水桂)
22	コープみらいフェスタ・医療生協さいたま健康フェスタ (吉川・大久保・加藤・清水桂・清水奈美)
24	県生協連第 2 回活動委員会 (吉川・大久保・加藤・清水桂・清水奈美)
25	第 59 回埼玉県消費者大会・第 9 回実行委員会 (吉川・大久保・加藤・清水桂・清水奈美)
26	きょうされん第 46 回全国大会in埼玉実行委員会 (吉川・加藤) 埼玉協同労働推進ネットワーク運営委員会 (吉川)
27	関東甲信越静行政生協関係者連絡会 (吉川・加藤) 埼玉消費者被害をなくす会検討委員会 (吉川・清水奈美)
28	生協総研第 32 回全国研究集会 (吉川・大久保・清水桂)
30	2023 年度第 1 回共済代理店等会議 (吉川) 埼玉消費者被害をなくす会講座等支援チーム会 (吉川・清水奈美) 埼玉婦人問題会議「埼玉県困難な問題を抱える女性支援基本計画(案)」説明会 (大久保)
31	県内生協関係福祉事業情報交換会 (吉川・加藤・清水桂) 埼玉弁護士会シンポジウム「悪質商法被害を防ぐ特定商取引法改正を!」 (吉川・加藤・清水桂・清水奈美)
2023 年 11 月	
1	第 3 回監事会
2	埼玉県消費生活功労者表彰式 埼玉労福協教育フォーラム
6	第 68 回埼玉母親大会第 9 回常任委員会
7	埼玉消費者被害をなくす会活動委員会
8	埼玉平和・市民 5 団体懇談会
9	第 3 回常務理事会

	埼玉消費者被害をなくす会景品表示法啓発講座
10	埼玉消団連 11 月度幹事会
11	4 都県生協連共催学習会
12	越谷ごちゃまぜの会
13	県内消費者団体地区別研修会① フードバンク埼玉第 2 回理事会
14	埼玉消費者被害をなくす会業務規程見直し検討チーム会 認定 NPO 法人消費者スマイル基金 2022 年度助成団体活動報告会 憲法 25 条埼玉集会実行委員会事務局会議
16	第 5 回理事会 適格消費者団体連絡協議会 企画委員会
17	都道府県協同組合連携組織全国交流会議
20	第 59 回埼玉県消費者大会第 10 回実行委員会 消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会
21	県生協連組合員活動交流会 日本生協連第 3 回地連運営委員会・第 2 回県連活動推進会議
24	埼玉消費者被害をなくす会第 3 回理事会 埼玉消費者被害をなくす会検討委員会 第 62 回全国消費者大会第 5 回実行委員会
25	彩の国食と農林業ドリームフェスタ（～26 日）
28	県内消費者団体地区別研修会②
29	日本生協連中央地連 地域社会づくり交流会
2023 年 12 月	
4	令和 5 年度 TAC パワーアップ埼玉県大会審査委員会
5	埼玉消団連 12 月度幹事会
7	埼玉消費者被害をなくす会活動委員会 審査委員と特定適格消費者団体との意見交換会
8	埼玉消費者被害をなくす会景品表示法啓発講座
14	埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会 vol.3
15	日本生協連中央地連大災協都県連交流会
18	県生協連連助け合い活動交流会
19	県生協連第 3 回活動委員会
21	県生協連監事研修・交流会
22	埼玉消費者被害をなくす会検討委員会 第 62 回全国消費者大会第 6 回実行委員会
26	第 4 回常務理事会